

## 選択分野3 建築都市に関する問題

| 日程  | 研究科     | 区分                  | 試験科目       |
|-----|---------|---------------------|------------|
| A日程 | 不動産学研究科 | 一般<br>社会人<br>外国人留学生 | 建築都市に関する問題 |

以下の問いにすべて答えなさい。

問題1 我が国の土地区画整理事業について、①目的、②手段・手法、③問題点または課題、以上3点を踏まえて説明してください。

問題2 我が国で中高層の区分所有マンション（分譲マンション）が普及したのは、1970年代と言われている。それまでは、中高層の区分所有マンションはほとんど供給されてこなかった。普及から50年以上が経過し、普及当初（1970年頃）の物件は、現在では高経年（老朽）マンションとなり、様々な問題が発生している。この状況は、我が国では初めて直面するものであり、国もまた、その対応に追われている。

- (1) 高経年区分所有マンションに発生している問題のうち、不動産学の観点から重要と考えられる問題を一つ以上とりあげ、問題となっている状況（どのような問題が生じているのか）、および発生するメカニズム（どうして発生するのか）について説明してください。
- (2) (1) で取り上げた問題が発生する背景（社会的背景、制度的背景、建築技術的背景など）について説明してください。
- (3) (1) で取り上げた問題の解決がなぜ難しいのか、区分所有という視点を重視して説明してください。

建築都市に関する問題（続き）

問題3

建物の耐震性を高める方法として、「耐震構造」、「制振構造」、「免振構造」がある。これらに関する以下の設問に答えなさい。

- (1) 図1は、各構造の耐震要素と揺れ方を模式化したものである。各構造の模式図として適切なものを選択しなさい。
- (2) 各構造の相違について、比較項目を明示して簡潔に述べなさい。
- (3) 図2は、1972年から2015年までに公表された約600棟の既存超高層鉄筋コンクリート造建物において設計された各構造の棟数を示したものである。この図から読み取れることを述べなさい。なお、図2の年代区分（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）は鉄筋コンクリート造技術の進展度を示すものとする。

図版については、  
著作権の関係から掲載いたしません。